

令和2年度

# 小・中学生フォーラム in 花園小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

12月7日（月）、花園小学校（新宿1-22-1、校長：川崎勝久）の6年1組25名が、「コロナに気を付けながら、楽しい学校生活を送るには」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、感染症予防のためにいろいろな制約がある今年の学校生活を振り返って、自分たちができていないと感じたこと、不便だと感じていることとして3つの課題を挙げ、「ハンカチを忘れないために」「おしゃべりをしないために」「コミュニケーションをとる方法」のグループに分かれて、その解決策を発表しました。区長からは、児童たちの発表を受けて、感染症がどのような状況で拡大するか、どのように対策をするかなどについての話がありました。その後、児童から区長へ「区長自身は感染予防対策として何をしているか」と質問があり、区長は感染症にかからないため、人にうつさないために自ら心がけていることについて回答しました。最後に区長から児童たちへ「皆さんの説明も分かりやすく、私からの話も静かに聞いてくれて嬉しかった。今年は行事の中止などもあり大変だったと思うが、残りの小学校生活で良い思い出を作ってほしい」とメッセージがありました。

フォーラム自体も、マスクの着用、換気、手指消毒など感染症対策に気をつけながらの開催となりました。児童たちが今まさに不便を感じている内容について、区長と一緒に考える良い機会となり、有意義なフォーラムとなりました。

